

お城のうしろ姿を見ながら歩く



50
分

歴史ある建築物が多く残る姫路。
特に男山からの見晴らしは絶景で、姫路を一望できます。



お城のうしろ姿を見ながら歩く



50分

歴史ある建築物が多く残る姫路。特に男山からの見晴らしは絶景で、姫路を一望できます。



男山めぐり

⑧ 男山配水池公園

姫路城のある姫山に対比する男山。山上は男山水源池とも呼ばれており、四季を問わずカメラマンが押しかける折紙つきのビューポイント。約200段の階段を登ってみる価値あり!



⑨ 男山八幡神社

⑩ 千姫天満宮

⑪ 水尾神社

御利益：恋愛成就・厄除け
千姫天満宮の絵馬は、千姫が奉納した羽子板にあやかった羽子板の形になっています。



① 姫路市立美術館

赤レンガが美しい美術館。旧陸軍の兵器庫として造られたもので、戦後に市役所として利用されていた建物を再利用して、1983年に開館しました。前庭の彫刻と並んでお写真をどうぞ。

② 兵庫県立歴史博物館

兵庫県下の古代から近年までの歴史を学ぶことができます。特に姫路城を中心に日本の城郭を様々な角度から解説した展示は必見です。建物の設計は丹下健三。

③ 野里門跡

野里の出入口にあることから名づけられました。濠が鍵型に屈曲し土橋が設けられており、外門は脇門付きの高麗門、内門は脇門付きの櫓門です。春になるとお濠沿いの桜並木がとても綺麗です。

④ 清水地蔵

お濠の近くにある地蔵尊は、水の豊かさが示され祀られています。

① 藤本豆腐店

隠れた名店で、ここの豆腐、厚揚げなどを求めて遠くから車で来るお客さんがひっきりなし。揚げたての熱々をほおぼってみてください。

ア 村井製菓

焼きたての「みかさ」を食べて一服してみても。依中やお団子もおいしいよ。



ウ 隠居部屋

早朝より開店している喫茶店。店内にはギャラリーもあります。ご休憩に立寄られてみては。

⑥ 不動院

境内及び周辺にはお堂が点在し、珍しい石仏群などがあります。また、石仏群左脇階段を上った高みからお城を望む眺望は、古来より絶景とうたわれています。

⑦ 鶯の清水井戸

地誌「播磨鑑」によると「鶯の清水」は赤松義村の時代(1521年頃)から播磨十水の一つに数えられ、風味がよく茶の湯にも利用されていたということです。

⑤ 白川神社

酒井公が前橋より姫路に城替えになった際、白川稲荷大神を当地雲戸神社の隣に移し、姫路城の守り神として家門の繁栄を願ったと伝えられ、眼の病氣平癒に靈驗あらたかといわれています。

エ 小林伝統瓦

瓦の良さを知りつくした職人ならではの感性で、現代のライフスタイルに合った美飾瓦の数々を楽しめます。

⑫ 姫路文学館

播磨地域の文学活動の拠点として、1991年に安藤忠雄の設計により設置されました。司馬遼太郎記念室や年数回の企画展など見どころいっぱい。屋上テラスから望むお城はおすすです。別棟の望景亭は登録有形文化財です。

ちょっとお勉強。

A 万葉の歌人・播磨娘子の歌碑

万葉集に収められた、播磨娘子が詠んだ歌二首が歌碑となっています。どちらも都から赴任してきた役人との惜別の歌です。



たゆらきの山の峰の上の桜花咲かむ春へは君し思はむ
(意) たゆらきの山の峰の上の桜が咲く春ごろには、あなたを思ひましょう。

君なくはなを身装飾はむ御箭なる黄楊の小櫛も取らむとも思はず
(意) あなたがいなければ、どうして身を飾りたてましょう。化粧箱の黄楊の小櫛も取るうとも思いません。

B 忠刻・お千の碑

中濠に沿ってのびる千姫の小径と呼ばれる小さな道の途中に、本多忠刻と千姫の歌碑があります。

秋風の風を簾にまきとりて (忠刻)

軒におほふ竹葉の露 (お千)

月見の宴を催した時の連歌の一部で、徳川家康の孫娘・千姫が最も幸せに包まれていた時に詠まれたものです。

